自主防災会向け

ボウサイ通信

←ボウサイマンZ

防災リーダー応援隊長
ハッシーくん →

第３１号
令和７年６月号
発　行：豊橋市防災危機管理課
電　話：５１－３１２６

防災とは、自分の未来を変えるため

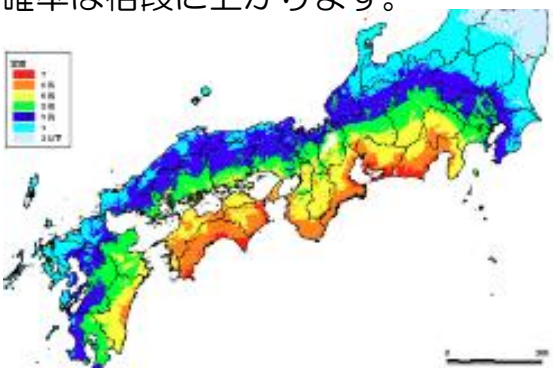
マイナスな事案に対して、前もって予測 し、回避もしくは縮小することで、自分の未来を切りひらく行動です！

ご自身の未来（将来）について考えたことはありますか？
保険の加入の際には、ご自身とご家族の将来について語られます。そしてその際に「万が一」という言葉がよく使われます。この「万が一」とは、未来に起きるであろうマイナス要素のことで、「万が一」に備えて保険は必要と言われています。

皆さんはその「万が一」のために多くの保険料を払い、保証（補償）を買い、安心を得ているのです。
では、災害に関するマイナス要素の不安から、安心を得るにはどうすれば良いでしょう？
答えは、ご自身で「準備する・対策する」ことしかないのです。しかもその発生確率は格段に上がります。

南海トラフ地震は「万が８千」

ご存じでしょうか？
南海トラフ地震の発生確率は、今後30年以内で「80％程度」です。「万が一」（０．０１％）の対策も大事ですが、地震対策などの防災でご自身への投資をぜひ行ってください。
備蓄品（食料や飲料）だけでなく、ご自宅の耐震化や家具固定もしてください。



事故は「万が一」、地震は「万が８千」（８０％程度）ですよ。
「してあってよかった！」と思う日が必ずやってきます。「準備してあって後悔した！」と思うことはありませんが、**「やってなくて後悔した！」**とは、あり得る話です。それもこれも全ては、災害が起きた後の感情です。良かったと思うか？後悔したと思うか。発災後に後悔して、地震に八つ当たりしないように、準備してください！全ては自分のため！

ぜひ知って欲しい

出水期とは？

一般的には６月から１０月

梅雨の集中豪雨や台風の多い時期のこと

ゲリラ豪雨・線状降水帯・スーパー台風

最近、「出水期」という言葉を耳にすることがある方は多いかと思います。また、ゲリラ豪雨、線状降水帯、スーパー台風などの言葉も多く耳にするようになりました。大雨による洪水被害が発生する原因となる気象用語です。

検索

豊橋市　６月豪雨　大雨の記録

令和５年６月豪雨を教訓に

多くの人は記憶に新しく、中には鮮明に覚えている方もいると思います。
愛知県を襲った台風２号の影響により、線状降水帯が東三河周辺に長時間にわたりかかり続け、豊橋市でも２４時間雨量が、観測史上過去最大雨量の５１１mmを観測し、１時間の最大降水量は９３mmを記録しました。（二川観測局）

テレビやスマホの速報では、何度も気象アラームが鳴り、最終的には豊橋市では初の「レベル５・緊急安全確保」が発令されました。

地形的に低いところでは、経験したことがないレベルの浸水が起き、床下、床上浸水家屋や、浸水して身動きが取れなくなった車両が市内のあちこちで放置されてしまう事態となりました。また、高速道路の通行止めや、鉄道各社の運休が相次ぎ、さらには主要道路の通行止めや大渋滞が発生し、多くの人が帰宅困難になり、生活に大きな影響が出てしまう大災害となってしまいました。

みなさんが 改めて「自分ごと」として置き換え！

住民へのインタビューで「今までに経験したことがない」とニュースなどでよく聞いたりします。自分の経験値と比べて今までにないという表現ですが、他の地域・他の人の経験を自分に置き換えることは、意外と簡単なようで難しいことかなと思います。ですが、自動車の運転をしていて、もし大きな水たまりがあったら、あの時の映像を思い出してください。大雨が降ってきたら思い出してください。あと１時間、いや１０分でも早く避難していたら助かったかも？という人もいます。**この道を行くのをやめる判断、家から避難する判断**ができるのは、他人の経験を「自分ごと」として置き換えることができた時です。

詳細は、「豊橋市　令和5年6月大雨の記録」として公開されています。

新しい活動を紹介します
情報募集

新しい取組や、おもしろい取組
防災会ニュースで紹介させてください。

豊橋市役所　防災危機管理課　TEL　51-3126

豊橋市防災キャラクター
「ボウサイマンZ」
応援よろしくお願いします！